

西日本日独協会特別企画のご案内

会員による会員のためのオンライン講義：チーム「ドイツ」の新刊紹介

特別企画第5弾のご案内です。第1弾「チーム〈ドイツ〉の最前線」、第2弾「近現代ドイツにおける〈女性〉」、第3弾「近代ドイツの〈フォルク〉」、第4弾「映像の中の〈ドイツ〉」に引き続き、今回は新刊紹介を3名の九大教員が行います。チーム〈ドイツ〉による多様な研究成果の核心を分かりやすくお伝えする予定です。なお、今回は土曜日ではなく、水曜日に行うことにしました。多数の参加をお待ちしております。企画委員長 小黒康正

参加資格：西日本日独協会会員、ドイツ語講座受講者、招待者の皆さま

申込先：協会事務局 (info@jdg-nishinihon.org) にメールにてお申し込みください。

申込締切日：6月16日(木)

視聴先：[Zoom を用いて行いますので](#)、申込者に URL とパスワードをお伝えします。

プログラム：

■ 第12回講義 6月22日(水) 17時から18時まで

福元圭太(九州大学)：『アポロン独和辞典第4版』(同学社、2022年3月)「サッと引く、パッとわかる」でお馴染みの(?)『アポロン独和』第4版が出ました。7年半をかけて大改訂を行なった最新独和の工夫を紹介しながら、言葉について考えたこと、辞書編纂にまつわる苦勞譚ないし滑稽譚をお話します。

→ <https://www.dogakusha.co.jp/1dokuwajiten.html>

■ 第13回講義 7月6日(水) 17時から18時まで

武田利勝(九州大学)：フリードリヒ・シュレーゲル『ルツィンデ 他三篇』(武田利勝訳、幻戯書房、2022年1月) ドイツ・ロマン派がのこした文学史上最大の問題の書のひとつ、『ルツィンデ』。小説とは何だろう、何が小説なんだろう。こうした厄介な内省の真っ只中へと、読者をいざないます。今回の講義では、今から200年以上も前にこんな「小説」が書かれた背景や、当時の読書界の反応について、ご紹介する予定です。

→ <https://note.com/genkishobou/n/n4d7f991c04c3>

■ 第14回講義 7月20日(水) 17時から18時まで

小黒康正(九州大学)：ヘルタ・ミュラー『呼び出し』(小黒康正訳、三修社、2022年5月) ノーベル賞作家ヘルタ・ミュラーが1997年に出した小説は、現代文学の最先端をいく作品です。今日は自分に出会いたくないという屈折した気持ちを朝から抱く「私」がいます。独裁政権下のルーマニアにいる女性です。平野啓一郎氏の推薦帯文にもご注目！ → <https://www.sanshusha.co.jp/np/isbn/9784384059847/>

..... 返信用フォーマット

西日本日独協会事務局 御中

西日本日独協会特別企画を申し込みます。

参加資格：西日本日独協会会員、ドイツ語講座受講者、招待者

ご芳名：